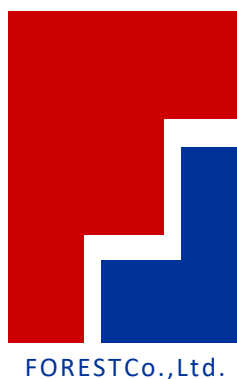


環境経営レポート

2023年度

(対象期間：2023年4月～2024年3月)



発行日：2024年7月1日

株式会社 フォレスト

エコアクション21

目 次

1. 組織の概要		P. 1～4
2. 認証・登録の範囲		
3. 環境経営方針		P. 5
4. 環境経営目標		P. 6
5. 環境経営計画		P. 7
6. 環境経営目標の実績		P. 8
7. 環境経営計画の取組結果と その評価、次年度の取組計画		P. 9
8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価 の結果並びに違反、訴訟等の有無		P. 10
9. 代表者による全体の評価と見直し・指示		P. 10

1. 組織の概要

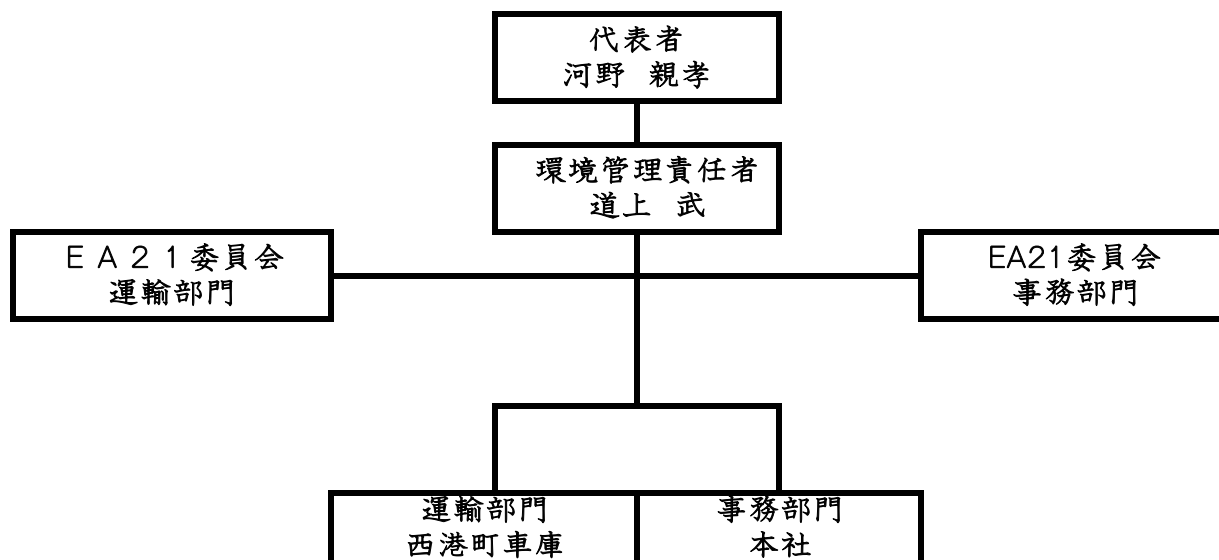
- 1) 事業所名 株式会社 フォレスト
代表者氏名 代表取締役 河野 親孝
- 2) 所在地 本 社
〒836-0047 福岡県大牟田市大正町 5 丁目 1 - 7
西港町車庫
〒836-0062 福岡県大牟田市西港町 1 丁目 1 番地1
- 3) 環境管理責任者 代表取締役 河野 親孝
担当者 道上 武
連絡先 T E L : 0944-88-8230 F A X : 0944-88-8231
Eメールアドレス : m i c h i u e @ h 2 7 f o r e s t . c o . j p
- 4) 法人設立 2001年2月27日設立
- 5) 事業年度 4月～翌年3月
- 6) 事業内容 一般貨物自動車運送事業
産業廃棄物収集運搬業
特別管理産業廃棄物収集運搬業
- 7) 事業規模
- | | 単位 | 本社 | 西港町車庫 |
|------|----------------|----|-------|
| 従業員数 | 人 | 3 | 11 |
| 延床面積 | m ² | 50 | 3,300 |
- 8) 資本金 1000万円
- 9) 売上高
- | 年度 | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 |
|------|--------|--------|--------|
| (万円) | 30,886 | 31,442 | 31,230 |
- 10) 運搬実績
- | 収集運搬量 | 運搬量 | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 |
|--------|-----|--------|--------|--------|
| 単位 (t) | t | 13,620 | 14,029 | 16,701 |

2. 認証登録の範囲

全組織・全活動を対象としています。

- 1) 対象事業所 本社、西港町車庫
2) 事業活動 一般貨物自動車運送事業
産業廃棄物収集運搬業

(株)フォレスト 組織図



・役割分担表

所 属	役割・責任・権限
代表者	・代表者として環境経営全般について責任と権限を持つ。 ・経営における課題とチャンスを確認にする。 ・環境経営方針を作成・見直し、従業員に周知する。 ・環境管理責任者、EA21事務局員を任命する。 ・環境への取組を実施するための資源（人・もの・金）を準備する。 ・EA21全体の取組状況に関し評価、見直しを実施する。
環境管理責任者	・EA21ガイドラインの要求事項を満たす環境経営システムを構築し、実行し環境実績を向上させる。 ・毎年、環境経営目標、環境経営計画を作成する。 ・3か月に1回、環境経営目標の達成状況及び環境経営計画の実施状況を確認・評価する。 ・上記の結果を代表者に報告する。
EA21委員会	・3か月に1回開催し、環境経営目標及び環境経営計画の実施状況を審議する。
EA21事務局	・環境管理責任者を補佐し、EA21文書及び記録類、及び基礎データの作成・維持・集計・管理を行う。 ・社外からの環境情報の収集と伝達を行う
各部門	・環境経営方針、環境経営目標、環境経営計画を部門全員に周知する。 ・環境経営目標達成のため、責任を持って自部門の環境活動を推進する。 ・自部門で発生した問題点の是正処置、予防処置を実施する。 ・自部門に関連する法規制等を順守する。 ・自部門に関連する緊急事態への準備及び対応の訓練を実施する。 ・自部門の教育・訓練を実施する。
全従業員	・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚する。 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加する。

12) 許可の内容

① 産業廃棄物収集運搬業許可一覧

産業廃棄物収集運搬業				許可項目																備考	
都道府県 及び政令 都市	積替 保管		許可の年月日 及び有効年月日	許可番号	燃	汚	廃	廃	廃	廃	紙	木	織	動	ゴ	金	ガ	が	ば	鉦	積替保管施設の所在地 及び面積、許可の条件
	有	無			え	泥	油	酸	アル	プラスチック	く	く	維	植	ム	属	ラ	れ	い	さい	
福岡県		無	令和3年5月17日 令和8年5月16日	4000188862	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	
長崎県		無	令和3年5月6日 令和8年5月5日	4200188862	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	
熊本県		無	令和3年9月16日 令和8年9月15日	4305188862	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
大分県		無	令和3年10月28日 令和8年10月27日	4407188862	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
宮崎県		無	令和3年9月2日 令和8年9月1日	4503188862	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
鹿児島県		無	令和3年9月6日 令和8年9月5日	4608188862	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
佐賀県		無	令和3年11月7日 令和8年11月6日	4101188862	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
山口県		無	令和4年5月17日 令和9年5月16日	3500188862	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
兵庫県		無	令和6年1月11日 令和11年1月10日	2804188862	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
大阪府		無	令和3年8月25日 令和9年8月26日	2804188862	○	○	○	○	○	○	○	○				○	○				
広島県		無	令和2年4月23日 令和7年4月22日	3400188862	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	

・施設等の状況（産業廃棄物収集運搬）

・運搬車両の種類と台数

10tテフロンローリー	8
10tステンレスローリー	0
トラクタヘッド	5
ステンレス18tトレーラ	1
20t平ウイングボデートレーラ	3
20t・25tFRPトレーラ	3
計	20

② 特別管理産業廃棄物収集運搬業許可一覧

産業廃棄物収集運搬業				許可項目																備考
都道府県 及び政令 都市	積替 保管		許可の年月日 及び有効年月日	許可番号	廃 油	廃 酸	廃 アル カリ	鉍 さい り	廃 石 綿 等	燃 え 殻	汚 泥	ば い じん								積替保管施設の所在地及 び面積、許可の条件
	有	無																		
福岡県	無		令和3年5月17日 令和8年5月16日	4050188862	○	○	○	○	○	○	○	○								
長崎県	無		令和3年5月6日 令和8年5月5日	4250188862	○	○	○	○	○	○	○	○								
熊本県	無		令和3年9月16日 令和8年9月15日	4355188862	○	○	○	○	○	○	○	○								
大分県	無		令和3年10月28日 令和8年10月27日	4457188862	○	○	○	○	○	○	○	○								
宮崎県	無		令和3年9月2日 令和8年9月1日	4553188862	○	○	○	○	○	○	○	○								
鹿児島県	無		令和3年9月6日 令和8年9月5日	4658188862	○	○	○	○	○	○	○	○								
佐賀県	無		令和3年11月7日 令和8年11月6日	4151188862	○	○	○	○	○	○	○	○								
山口県	無		令和4年5月17日 令和9年5月16日	3550188862	○	○	○	○	○	○	○	○								
兵庫県	無		令和6年1月11日 令和11年1月10日	2854188862	○	○	○	×	×	×	○	○								
広島県	無		令和2年4月23日 令和7年4月22日	3450188862	○	○	○	○	○	○	○	○								
大阪府	無		令和3年8月25日 令和8年8月24日	2750188862	○	○	○	×	×	×	×	×								

3. 環境経営方針

環 境 経 営 方 針

株式会社 フォレストは、一般貨物自動車運送事業、産業廃棄物収集運搬業、特別管理産業廃棄物収集運搬業を通じて、地域社会から信頼され、共に発展することを目指します。

安全第一のサービスの提供と、真摯で誠実な事業活動を推進するとともに、社会的責任を果たすため、環境経営の継続的な改善に取り組みます。

1. 経営的課題を踏まえて、以下の重点項目に取り組みます。

(1) 電力・燃料等エネルギーの削減により、二酸化炭素の排出量を削減します。

(2) 廃棄物排出量を削減します。

(3) 節水に努め、水の使用量を削減します。

(4) 資源リサイクル等に協力します。

2. 事業活動に関連する環境関連法規等を遵守します。

3. 地域環境に配慮した事業活動を展開するとともに、資源の有効活用や省エネルギーを推進することで地球環境の保全に努めます。

4. 企業市民として地域の貢献活動を推進します。

5. 全従業員へ「環境経営方針」の理解と協力を求め、周知徹底を図り、環境意識向上に努めます。

制定日 2019年9月1日

改訂日 2021年1月1日

改訂日 2021年4月1日

株式会社 フォレスト

代表取締役 河野 親孝

4.環境経営目標

作成日：2024年7月1日

	単位	基準年度	目標		
		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
1. 二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂ /t	49.46	49.45	49.44	49.43
(1) 電気使用量削減	kWh	13,284	13,271	13,257	13,244
(2) ガソリン使用量削減	ℓ	3,169	3,166	3,162	3,159
(2) 軽油使用量削減	km/ℓ	3.14	3.15	3.16	3.17
(燃費の向上)					
2. 廃棄物排出量の削減					
一般廃棄物排出量の削減	kg	161.0	160.8	160.7	160.5
3. 水使用量の削減	m ³	320.0	319.7	319.4	319.0
4. 省エネルギー型機器の導入	台/年	1	1	1	1
5. 地域貢献活動の推進(清掃)	回数	1回/2ヵ月	1回/2ヵ月	1回/2ヵ月	1回/2ヵ月

備考

- ・購入電力の二酸化炭素排出係数は、0.347kg-CO₂/kWh(九州電力 2018年度・調整後)を使用した。
- ・産業廃棄物の排出はありません。
- ・化学物資の使用はありません。

【原単位の説明】

- ・二酸化炭素排出量の削減＝総排出量/輸送量 (2022年度 693,941kg-CO₂ ÷ 14,029 t =49.46kg-CO₂/t)
- ・軽油使用量＝軽油使用量/距離 (2022年度 264333.45ℓ ÷ 829769.47km =3.14 ℓ/km)

5. 環境経営計画

1.二酸化炭素排出量の削減

活動項目	
電気使用量削減	事務室、車庫、控室不必要な時は消灯する。
	夜間・休日等パソコンプリンター主電源を切る。
	カーテンの利用により、熱の出入りを調整する。
ガソリン・軽油使用量削減	不必要なアイドリングをしない。
	制限速度を守る。（高速道路80 k m 一般道60 k m）
	急発進・急加速をしない。エンジンプレーキを使用する。
車両設備	定期点検を着実に行う。
	エコドライブ関連機器の導入。
	走行距離の短縮化を図る。

2.廃棄物排出量削減

活動項目	
一般廃棄物	使い捨て製品の使用や購入を控えている。
	帳票等紙類の削減。
	廃プラスチック類についてはリサイクル施設に持ち込む。

3.水使用量削減

活動項目
社有車の洗車を、必要最小限に留める。ホースにバルブを着ける。

4.省エネルギー型製品の導入

活動項目
省エネルギートラック購入。

5.地域貢献活動の推進

活動項目
産業資源循環協会の活動に参加する。
車庫付近の清掃活動を行う。
災害等発生した場合は、従業員を派遣する。

6. 環境経営目標の実績・報告

	単位	2023年度		達成率%	評価
		目標	実績		
1. 二酸化炭素排出量の削減(総量)	kg-CO ₂	---	652,601	---	---
(輸送量原単位)	kg-CO ₂ /t	49.45	39.08	126.54	○
(1) 電気使用量削減	kWh	13,271	12,189	108.88	○
(2) ガソリン使用量削減	ℓ	3,166	3,270	96.82	△
(2) 軽油使用量削減	k m/ℓ	3.15	3.05	103.28	○
(燃費の向上)					
2. 廃棄物排出量の削減	t				
一般廃棄物排出量の削減	kg	161	161	99.88	△
3. 水使用量の削減	m ³	319.7	320.0	99.91	△
4. 省エネルギー型の機器導入		1	発注	100.00	○
5. 地域貢献活動の推進	回数	1回/2カ月	1回/2カ月	100.00	○

評価 達成率評価 ○：100%以上 △：99～80% ×：80%未満□

※二酸化炭素排出量の計算で使用した排出係数は、0.347kg-CO₂/kWh（九州電力 2018年度・調整後）を使用。

【上記評価コメント】

1. 二酸化炭素排出量の削減	二酸化炭素排出量の98%を占める軽油の使用量増加により、目標未達となりました。 軽油使用量の増加の原因は車両の増加、運搬量・運搬距離の増加です。 今までの取り組みは継続し、現状を再度確認し、目標見直しも検討していきたいと思います。
(1) 電気使用量削減	
(2) ガソリン使用量削減	
(2) 軽油使用量削減	
2. 廃棄物排出量の削減	人員の増加により廃棄物が増え目標は△となりました。 今後も分別の徹底、周知を継続します。
一般廃棄物排出量の削減	
3. 水使用量の削減	目標未達成は車両の増加によるものと考えます。節水、無駄な水は使用しない等の取り組みは継続していきます。
4. 省エネルギー型の機器導入	達成の評価となりました。発注から納車までに時間がかかることもあるため、今後も継続していきます。
5. 地域貢献活動の推進	達成の評価となりました。今後も継続的に取り組んでいきます。

7. 環境経営計画（2022年度）実施状況

1. 二酸化炭素排出量の削減

取組目標	責任者	達成手段	担当者	スケジュール				実施状況
				4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	
1 電気使用量の削減	河野	1 不用品照明の消灯。	道上	◆				○
		2 夜間休日等パソコンプリンター主電源を切る	道上	◆				○
	河野	1 カーテンの利用により、熱の出入りを調整する。	道上	◆				○
2 ガソリン使用量の削減	河野	1 アイドリングストップ	道上	◆				○
		2 急発進・急加速をしない。	道上	◆				○
3 軽油使用量の削減	河野	1 アイドリングストップ	道上	◆				○
		2 デジタルタコグラフを使用し速度制限の監視	道上	◆				○

2. 廃棄物排出量

取組目標	達成手段	達成手段	担当者	スケジュール				実施状況
				4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	
1 一般廃棄物排出量の削減	河野	1 使い捨て製品の使用や購入を控えている。	道上	◆				○
		2 帳票類の削減。	道上	◆				△
		3 廃プラスチック類については分別を行う。	道上	◆				○

3. 水使用量の削減

取組目標	責任者	達成手段	担当者	スケジュール				実施状況
				4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	
1 水使用量の削減	河野	1 社有車の洗車を、最小限に留める。	道上	◆				△
		2 ホースにバルブを着ける。高圧洗浄機の使用	道上	◆				○

4. 省エネルギー型製品の導入

取組目標	責任者	達成手段	担当者	スケジュール				実施状況
				4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	
1 省エネルギー型割合の向上	河野	1 省エネルギートラック購入	道上		発注			○

5. 地域貢献活動の推進

取組目標	責任者	達成手段	担当者	スケジュール				実施状況
				4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	
1 地域貢献活動の推進	河野	1 産業資源循環協会の活動に参加する。	道上			随時		○
		2 車庫付近の清掃活動を行う。		◆				○
		3 災害等発生した場合は、従業員を派遣する。	道上			発生時		-

実施状況 ○：実施できた △：十分とは言えなかった ×：不十分であった

次年度取組み(環境経営目標・環境経営計画)

内容	環境経営目標	環境経営計画
①CO2排出量の削減	目標値を再検討し適正な削減目標値に改正する。	ドライブレコーダーを利用しエコ運行監視を継続をする。
②一般廃棄物の排出量の削減	継続する。無駄な備品購入を控える	EA委員会を中心として購入や分別を徹底させる。
③水使用量の削減	目標値の見直しを検討する。継続して水の使用量を削減する。	節水器具を装着し毎月使用量を確認し対策を検討する。
④省エネルギー型製品の導入	継続する。	発注を行う
⑤地域貢献活動の推進	継続する。	継続して、車庫前道路の清掃活動等を実施する。

8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無

当社に適用される主な環境関連法規は、

- ・廃棄物処理法 産業廃棄物収集運搬業者として、産業廃棄物廃棄物の運搬、排出事業者として、一般廃棄物の排出
- ・自動車リサイクル法 車両廃車等の際には、リサイクル法等があります。

2024年7月に環境関連法規等とその遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。

また、その関係機関などからの指摘や隣接する事業所及び近隣住民の方々からの苦情や訴訟もありませんでした。

9. 代表者による全体の評価と見直し・指示

記録その1：評価及び見直しに必要な情報（環境管理責任者） 記録日：2024年7月1日

	環境経営目標	環境経営目標の達成状況	環境経営計画の実施状況	コメント
環境経営目標の達成状況・環境経営計画の実施状況	二酸化炭素排出量の削減	△	△	電気使用時こまめに電源を切る事で少しではあるが削減することが出来た。輸送量が増加に伴い軽油使用量が増えた。
	廃棄物排出量の削減	△	△	宿泊業務が増加し持ち帰りのごみが増加している。
	水使用量の削減	△	△	洗車時の水使用分が増えている。
	省エネルギー型製品の割合の向	○	○	省エネルギートラックを発注し、車両の入替を進めている。
	地域貢献活動の推進	○	○	車庫前道路の除草及び清掃活動を実施しました。
環境関連法の順守状況のチェック結果	・廃掃法、自動車リサイクル法、その他等 順守状況に異常はありませんでした。			
外部からの苦情等の受付結果	・外部からの苦情等はありませんでした。			
前回の代表者の指示事項とその取組結果	・ unnecessary電気はこまめに電源を切る。（継続する事） ・ 軽油使用量の削減をする事			
その他（前回の審査での指摘事項の改善結果、その他	環境経営レポートの修正を行いました。 目標については検討中です。			

評価 ○：実施できた △：十分とは言えなかった ×：不十分であった

記録その2：評価及び変更の必要性和指示（代表者） 記録日：2024年7月1日

環境経営システムが有効に機能しているか	昨年度より少しずつではあるが、機能している。
環境への取組は適切に実施されているか	事故を想定した訓練の実施、毎朝の朝礼等で、環境についての周知を図る。
環境方針 変更の必要性（○有 ●無）	継続する
環境経営目標・環境経営計画 変更の必要性（●有 ○無）	車両の増加など変化があるため、環境経営目標を見直しの検討を行い実施した。
実施体制の構築 変更の必要性（○有 ●無）	継続する
その他の環境経営システムの要素 変更の必要性（○有 ●無） ●取組の対象組織・活動の明確化 ●環境負荷の把握・評価 ●環境関連法等の取りまとめ ●教育訓練の実施 ●環境コミュニケーションの実施 ●実施及び運用 ●緊急事態への準備及び対応 ●環境文書及び記録の作成・管理 ●取組状況の確認及び評価	・ 環境システムについては、未だ周知や担当者からの改善などが行われ、社員一人一人に浸透してきている。 今後、社員の方から環境経営についての意見が出るような環境を作っていく必要がある。 ・ 毎月1回班長会議を行い情報提供などを行う。（必要な時は随時）